

送ルコト

（四）即日市民反日大会召集方市党部ニ上申スルコト
北平、上海、奉天、鐵嶺ニ転電セリ

付 順天時報廃刊問題

476

昭和4年1月22日 田中外務大臣より
在米国出淵大使宛（電報）

順天時報排斥問題に関する経過につき通報

付記一 昭和三年九月十日発在中国芳澤公使より田中

外務大臣宛電報第一二八二号

北平市党部の煽動と新聞業者の運動による順
天時報排斥に関し同市長へ取締方要求につい
て

二 昭和三年九月二十四日発在中国芳澤公使より

田中外務大臣宛電報第一三四一号

順天時報排斥問題に関し対抗策上申について

三 昭和三年九月二十六日発田中外務大臣より在

中国芳澤公使宛電報第四八八号

順天時報排斥に関し差向き各当局に対し至急
有効な取締方嚴重要求する様訓令

四 昭和三年九月二十九日発田中外務大臣より在

南京岡本領事宛電報第八一号

順天時報排斥取締りに関する交渉に当り中央
政府に同取締徹底方に重きを置く様訓令

本省 1月22日後2時12分発

第三四号

客年九月以来北京市党部其他反日会一派ハ同地順天時報ヲ
日本帝國主義ノ機關ナリトシ之ニ圧迫ヲ加ヘ配達夫購読者
広告主等ニ威嚇暴行ヲ行ヒ又支那側通信ノ供給ヲ杜絶セシ
ムル等各種惡辣手段ヲ弄シテ同紙ノ營業ニ大打撃ヲ与ヘ
（同紙最高発行部数二万三千ノ処十二月上旬ニハ千三百ニ
低下セリ）其後十月中旬事態多少緩和ノ兆アリシモ日支交
渉ノ行悩ミニ件ヒ再ヒ惡化シテ今日ニ及ヒ居リ我方ハ北京
及南京ニ於テ支那側当局ニ取締要求ヲ繰返セルモ右不法行
為カ主トシテ党部ノ作為ニ出テ居ル為容易ニ取締ノ実効奉
ラサル状況ナルカ本運動ニハ当初ヨリ北京郵務局ノ郵務工
会（事務員ノ組合）郵差工会（配達夫ノ組合）等参加シ順
天紙ノ郵便託送受理ヲ渋リ又受理済ノモノヲ抑留スル等
（漢字通信中順天郵便物カ焼却セラレタル旨報道スルモノ
スラアリ）不法ヲ繰返セルノミナラス山西省方面ニ於テハ
目的地郵便局ニ送達セラレタル同紙カ省党部検査員ノ為抑

留セラルル等郵務関係ニ於テモ事故頻発シ居レリ右ハ華府會議ノ経緯モアリ支那郵政ノ信用ニ係ル重大事ナルヲ以テ十月上旬芳澤公使ヨリ右順天郵便物妨礙事実ヲ列挙シテ在北京華府決議調印国公使ノ注意喚起ノ手續ヲ取りタル外我方ニ於テハ北京郵務局外国人幹部及南京郵政首脳部ニ対シ屢次警告ヲ与ヘ彼等ニ於テモ右等不法行為ノ存在ヲ認メ憂慮ノ意ヲ表シ居ルモ是亦取締ノ実ヲ著クル力ナキ有様ナリ英ニ転電シ在欧各大使ニ暗送セシメラレタシ

(付記一)

北京 9月10日後発
本省 9月10日後着

第一二八二号

国民党ノ勢力当地方ニ及ヒテ以来市党部ノ煽動ト同業者ノ運動トニ依リ順天時報排斥ヲ慫慂スル新聞記事散見シタリシカ市党部ハ数日前ヨリ順天時報ハ日本帝國主義ノ言論機關ニシテ反動的宣伝ヲ為ストノ理由ノ下ニ新聞配達夫工会ヲシテ該新聞ノ配達ヲ停止シ各購読者ニ対シ之カ購読停止ヲ勧告セシムトシ右ノ趣旨ノ伝單ヲ各所ニ配付シ次テ七

一、順天排斥問題ノ對抗策トシテハ差当リノ応急措置ト根本対策トノ二種アルヘク而シテ後者ハ他ノ一般排日問題ト一括シテ考慮スルコト然ルヘキモノト思考セラルル処応急措置ニ付テハ之迄順天始メ当館ニ於テモ対策未決定ノ為万事穩便且消極的態度ヲ持シ来リタルカ茲ニ対策決定ノ必要ヲ認メ之ヲ機会トシ今後ハ從來ノ方針ヲ一変シ大要左記ノ如キ方法ニ依リ支那側ニ対シ強硬ナル態度ヲ示シタキニ付御意見ノ次第アラハ至急御回電ヲ請フ

一、元来支那人ノ氣質トシテ仮令先方ノ遣口カ不法ナルニセヨ我方ニ於テ之ニ屈服セハ益々國ニ乗ル国民性ナルカ故ニ本問題ニ付テモ我方カ此ノ儘消極的態度ヲ継続スルニ於テハ独リ順天ノ将来カ絶望ノ状態ニ陥ルノミナラス其ノ他ノ諸問題ニモ非常ナル悪影響ヲ及ホス虞アリ就テハ此ノ際順天ヲシテ之迄ノ消極的態度ヲ一変シ猫ニ代フルニ虎ヲ以テシ支那側ノ不法措置ニ対シ断然反対ノ意氣ヲ表示セシムル心算ニテ其ノ方法トシテハ先ツ先般来ノ工会ノ不法措置ヲ攻撃セシメ今日迄工会ノ為シタル暴行ハ支那カ多年希望セル治外法權撤廢問題ニモ多大ノ影響ヲ及ホスヘクスノ如キ不法ノ行為カ看過セラルルカ如キ

日ノ市党部會議ニテ市内各所ニ黨員ヲ配置シ強力ヲ以テ配達ヲ妨害スルコトヲ決議シタル由聞込ミタルニ付八日不取敢有野ヲシテ市長何其輩ニ抗議シ之カ取締方ヲ要求セシメタル処何ハ市党部ト市政府トハ系統ヲ異ニシ且対等關係ニ在ルカ故ニ市長ヨリ正式ニ抗議スルコトハ困難ナルモ私人ノ資格ニテ市党部側ニ疏通ノ途ヲ講スヘク尤モ市長ノ職權ニ屬スル限り充分保護ヲ為スヘシト答ヘタル趣ナルモ果シテ当地限リニテ市党部ノ不法ヲ阻止シ得ルヤ否ヤ覺束ナク前途甚タ憂慮ニ堪ヘス但九日ハ多少ノ妨害ヲ受ケタルモ新聞ハ配達セラレタリ目下成行ヲ監視シ対策考究中委細郵報尚右在京ノ渡邊社長ヘ御伝ノ上根本対策考究ノ為繰合セ成ルヘク早目ニ帰任方御勧誘ヲ請フ

南京、上海、天津ヘ転電セリ

(付記二)

北京 9月24日後発
本省 9月24日後着

第一三四一号(極秘)

往電第一三二八号ニ関シ

② 国状ニテハ

治外法權撤廢ノ如キ思ヒモヨラス現ニ米國カ関税ニ関スル条約ヲ締結シ関税自主權ノ回復ヲ認メタルニ拘ラス治外法權撤廢ヲ約ササルハ当然ノ事ナリト云フカ如キ又工会カ公然郵便物ヲ抑留シ國家ノ郵政權カ得體ノ知レサル不法団体ノ為停止セラルルカ如キ現状ニテハ往年ノ如キ外国ノ郵便制度ヲ再び復活セサルヲ得サルヘシト云フカ如キ筆法ヲ用ヒ一面市党部ノ陰險惡辣ナル手段ヲ指摘シテ之ヲ罵倒セシメ其ノ他ニモ種々ノ方法ヲ以テ支那側ノ非ヲ攻撃セシムコトスヘシ

一、只特ニ注意ヲ要スヘキハ右順天ヲシテ強硬態度ニ出テシムル際際其ノ目指ス敵ハ成ルヘク一部分ニ局限スルコト得策ナルヲ以テ先ツ主タル目標ヲ工会トシ続イテ市党部ノ所為ヲ攻撃スヘキモ一方支那一般國民ニ対シテハ熱烈ナル同情ヲ表シ又南京政府及國民黨乃至中央党部並ニ当地衛戍總司令部市政府等ニ対シテハ相当ニ同情シ大体好意ヲ示スカ如キ筆法ヲ用ヒシムルコトスヘシ

一、当地ニ於テ順天カスノ如キ態度ヲ示スト同時ニ一方南京ニ於テハ岡本領事ヲシテ此ノ際從來ニ比シ更ニ一層敵

肅ナル態度ヲ以テ報夫、郵務及郵差各工会及市党部ノ不法措置ヲ痛切ニ攻撃シテ

迅速且有効ナル取調措置ヲ講セシムル様国民政府ニ交渉セシメ度尙北京及南京ニ於ケル右ノ措置ト相照応シテ東京ニ於テハ本省ヨリ成可ク日本ノ新聞及通信ヲシテ北京ノ工会及市党部ノ所為ノ不法ヲ罵倒シ攻撃セシムル様宜伝ノ方法ヲ講セラレタシ

一、支那側ニ対シテハ以上ノ如キ対策ヲ講スルト同時ニ順天ハ当分ノ間鬭争ヲ継続スル覚悟ヲ要スヘク其ノ為ニハ発行部数ヲ出来得ル丈現状ノ儘維持スル必要アルヘキヲ以テ北京ニ於テハ現在ノ通自動車ニ依ル配達ヲ継続シテ天津其ノ他ヘノ發送ノ分ハ当地郵政局ノ手ヲ經ス自動車ニテ天津迄輸送シ他地方ヘノ分ハ更ニ同地ヨリ郵送スルコトトシ又支那側ノ廣告激減ノ為紙面ノ体裁ニ支障ヲ来ス場合ハ天津、大連其ノ他ノ地方ノ支那人ノ廣告ヲ取寄セ之ヲ補フ等精々対策ヲ講セシムル積リナリ

一、以上ノ方策ハ我方ノ対策トシテ深ク胸中ニ秘メ置クモノニシテ万一右計畫カ外国ニ漏洩スルニ於テハ何等ノ効果ヲ奏セサルノミナラス却テ有害ナル結果ヲ生スヘキカ

為スコトト致シ度シ

本大臣訓令トシテ南京ニ転電シ参考トシテ上海ヘ転電セシメタリ

天津ヘ転電セリ

(付記四)

本省 昭和3年9月29日後5時5分發

第八一号

本大臣發北京宛第四八八号ニ関シ

本件解決上党部ノ態度ハ最重要視スル必要アルモノト思考セララルル処北京宛貴電第三五八号第三七三号等ニ依ルニ国民政府当局ハ既ニ中央党部ヨリ北京市党部ヘ嚴重發令ノコトトナリタル旨ヲ言明シ居ルニ拘ラス北京ニ於テハ未ダ形勢改善ノ兆ナキカ如キノミナラス北京宛貴電第三九五号ニ徴スルニ從來右中央党部ノ命令カ事實発セラレタルモノナリヤ否ヤモ聊カ覚束ナキ感アルニ就テハ貴官ヨリ同政府ニ対スル御交渉ニ際シテハ特ニ右中央党部命令徹底ノ点ニ重キヲ置カルト共ニ尚既ニ御氣付ノ所トモ存スルモ進ムテ直接党部有力筋ヘ接觸ヲ計リ彼等ヲシテ前記命令徹底ニ

故ニ当方ニ於テモ当館内ニ於テモ嚴秘トスルハ勿論順天側ニモ社長及主筆限リノ含ト為スヘキニ付本省ニ於テモ其ノ御含ニテ適宜御措置相成度シ

上海、南京、天津ヘ転電セリ

(付記三)

本省 昭和3年9月26日後5時20分發

第四八八号(極秘)

貴電第一三四一号ニ関シ

本件対策トシテ貴電第二項順天紙上工会等ニ対スル攻撃ヲ開始スルコト又ハ第四項後段内地宣傳機關利用ハ其ノ効果必スシモ万全ヲ期シ難キノミナラス本大臣發上海宛往電第二三一号ニ依リ御承知ノ通り目下当方ニ於テハ国民政府ノ改組ト共ニ何等カノ新發展ヲ待望シ居ル關係モアルニ付是等措置ハ今後形勢ヲ見タル上第二段ノ手段トシテ之ヲ考慮スルコトトシ差向キハ今一応貴地ニ於テ市政府及衛戍司令部ニ対シ嚴重抗議ヲ繰返スト共ニ南京ニ於テモ貴電第四項前段ノ趣旨ニ依リ特ニ帝國政府ノ敕命ニ依ル趣ヲ以テ各当局ニ対シ至急有効ナル取締ヲ為ス様一段嚴重ナル要求ヲ

尽力セシムル様御努力相成タシ

北京上海天津ヘ転電アリタシ

~~~~~

477 昭和4年1月23日 在中国堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

商震河北省政府主席に対し反日風潮増大の傾向に遺憾の意を述べると共に順天時報排斥の事実を挙げ取締方要求について

北平 1月23日後發

本省 1月23日後着

第七八号

客年貴電第六〇八号ニ関シ

当地ニ於テハ順天時報排斥ハ依然熾マサルカ日貨排斥ハ往電第一二号ノ事情ニ基キ目下各団体トモ一時形勢觀望ノ模様ニテ日貨ノ登記及検査等モ一般的ニハ実行セラレス救国基金ノ如キモ今日迄徴収セラレタルモノ僅ニ三千元内外ニ過キサル状態ナルカ故ニ商震ノ指導委員就任ヲ俟チ徹底的取締方ニ付懇談ヲ遂クル積リナリシ処商震モ容易ニ新任スル氣配ナキニ反日会ハ一兩日前日貨完買者ヲ拘禁シテ街頭

ニ曝ス為ノ檻ヲ市街目抜ノ場所ニ設ケタル事実アリ事態悪  
化ノ徴見ヘ至急抗議スル必要ヲ生シ他方南方ニ於テハ芳澤  
公使カ蔣<sup>(蔣)</sup>ニ日支交渉ヲ開始セラレムトスル際各地ニ於ケル  
排日風潮ノ跋扈ハ放任スヘカラサルモノト認メ二十三日商  
震ヲ往訪シ先ツ今ヤ南京ニ於テ芳澤公使王部長間ニ交渉開  
始セラレムトスルニ当リ当地方面ニ於テ反日風潮増大ノ傾  
向アルハ遺憾ナリ殊ニ日貨売買者制裁ノ檻ノ如キハ米國ノ  
私刑<sup>(リンチ)</sup>ニモ等シク野蠻ナル風習ニシテ自由ヲ信  
条トスル法治國ノ体面ニ関スル問題ナリト述ヘタルニ對シ  
商震ハ排日運動ニ對シテハ從來直接間接取締ヲ勵行シ当地  
方ニ関スル限り左迄拡大シ居ラス唯昨日政治分會例会ニ於  
テ例ノ檻ニ付話出テタルニ付張繼主席ト共ニ列席ノ何市長  
ニ對シ事實取締方ヲ命シ若シ事實ナレハ撤去方ヲ命シ置キ  
タリ

ト述ヘ次テ本官ハ順天時報問題ニ言及シ最近同紙ニ對スル  
迫害ノ事實ヲ挙ケ取締方ヲ要求セルニ商ハ公安局長ニ對シ  
事實取締方ヲ命スヘキモ自分カ当地ニ於テ直接取締ルコト  
ハ却テ諸般ノ問題ニ面白カラサル反響ヲ及ホスヘキカ故ニ  
中央ニ電報シ中央党部ヨリ反日会ニ對シ妨害中止方命令ス

購買者禁止方議決について

公第二八九号

(4月6日接受)

昭和四年三月二十七日

在支那

臨時代理公使 堀 義貴〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

反日会ノ順天時報購読者並日貨購買者処罰ニ関ス  
ル件

当地反日会ニ於テ順天時報ノ營業妨害ヲ行ヒ居レルハ屢次  
ノ報告ニ依リ御承知ノ通ナル処本月二十二日同會員三名ハ  
苦力二名ヲ帶同自動車ヲ驅ツテ市内四ヶ所ニ設置シ居レル  
順天時報掲示板ヲ取り去レリ右ニ付テハ直ニ支那警察當局  
ニ原状回復方交渉シ且ツ今後ノ取締ニ付注意ヲ喚起シ置キ  
タルカ他方二十三日ノ反日会常務委員會ハ順天時報閱読並  
日貨購買禁止方法トシテ

一、順天時報ヲ購読スルモノハ十元以上五十元以下ノ罰金  
ニ処ス

二、順天時報ヲ繼續購読スルモノハ五十元以上五百元以下  
ノ罰金ニ処ス

ルコトスヘシト答ヘタルニ依リ本官ハ貴主席カ市党部指  
導委員ニ就任シ之ヲ取締ルコトトシテハ如何ト反問セルニ  
指導委員ノ就任ニ付テハ目下中央ト打合中ニテ決定シ居ラ  
スト述ヘ夫レヨリ目下当地國民黨員中ニハ種々ノ不良分子  
混入シ統御ニ苦シム事情ヲ内話シタリ依テ本官ハ現地ニ於  
テ実行出来ル取締ハ勿論然ラサルモノモ中央ト協議ノ上速  
ニ勵行シテ実績ヲ挙クル様嚴重申入レ今後ノ事態如何ニ依  
リテハ将来繰返シ嚴談ニ及フヘキ旨念ヲ押シ商震ハ最善ヲ  
尽スヘキコトヲ誓ヘリ右ノ事情ニテ当地排日運動ノ背後ニ  
党部ノ教唆アルハ事實ナルカ目下ノ処商品ノ排斥ニ對シテ  
ハ熾烈ナル運動ヲ見ス商震カ指導委員ニ就任シ市党部ノ改  
組成ル上ハ更ニ緩和スヘキカト認メラルルカ順天時報ノ排  
斥運動ハ中央ヨリ有効ナル命令アラサル限り徹底的取締リ  
困難ナルヤニ見受ケラル

上海、南京、天津ヘ転電セリ

478

昭和4年3月27日

在中国堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛

反日会常務委員會が順天時報購読者並び日貨

三、順天時報ヲ販売スルモノハ市中ヲ引廻シ且木檻ニ入ル  
ルカ或ハ十元以上五十元以下ノ罰金ニ処ス

四、掲示板ノ順天時報ヲ閱読スルモノハ一元以上十元以下  
ノ罰金ニ処ス

五、日本商店ヨリ日本貨ヲ購買スルモノハ五十元乃至二百  
元ノ罰金ニ処ス

ノ各項ヲ議決セル趣ナリ尤モ最近地方法院ノ一職員ハ日貨  
購買ノ廉ニ依リ反日會員ニ逮捕セラレ且十五元ノ罰金ヲ科  
セラレタルニ對シ此種非法処罰ニハ断シテ承服スル能ハス  
トテ頑トシテ応セサルヲ以テ反日会ニ於テハ釈放モ出来ス  
困却シ居レル趣ナリ

右何等御参考迄報告ス  
本信写送附先 上海 天津 南京

479

昭和4年5月25日

在中国堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

順天時報発送方命令に對し郵便局長より反日  
會が同報を持ち去るので武力を以て同會取締  
方を申し出たとの商震内話について

北平 5月25日後発  
本省 5月26日前着

第五四九号

往電第五一四号ニ関シ

二十四日商震ハ原田トノ面会ノ際郵便局ニ於ケル順天時報  
發送差止ニ言及シ過日当地郵便局長ニ対シ同紙ノ發送方ヲ  
命令シタル処同局長ヨリハ反日会員ハ今以テ連日同局ニ出  
張シ外国行ノ分ヲ除キ各省行ノ分ノハ全部持去リ居ルニ付  
武力ヲ以テ取締方ヲ逆ニ申出タル次第ナルカ自分トシテハ  
時局緊張ヲ示シ軍事時期ニ入り来ルノミナラス此ノ際共產  
党ノ暴動ニ備フル見地ヨリ近ク特別戒嚴令ヲ數キ凡ユル越  
軌行動ヲ嚴ニ取締ル方針ナルカ故ニ其ノ際反日会モ其ノ内  
ニ含メ一併解決スル所存ナリト語り尚救国運動会ト改称方  
ニ付省党部カ最近ニ至リ中央党部ヨリ接到セル通知(二月  
中ノ日附)ニ依レハ

一、救国運動会ハ各通商港ニ設置ス

二、右ノ外中央党部民衆訓練部ニ於テ必要ト認メタル場所  
ニ之ヲ設ク

三、日貨ノ調査

北平 発  
本省 6月19日後着

第六四〇号

十八日本使帰任挨拶旁商震ヲ訪問ノ際反日問題ニ言及シ本  
使ヨリ当地ノ反日運動カ貴下ノ尽力ニ依リ多少緩和ノ傾向  
ニ在ルハ感謝スル処ナルモ未タ我方ノ期待セル効果ヲ認メ  
得サルハ遺憾ナリト冒頭シ反日取締問題ニ関スル本使ト王  
正廷トノ交渉ノ経過及王ノ本使ニ対スル言明等ニ付一応説  
明ヲ為シタル上当地ノ現狀中順天時報カ反日会員ノ為依然  
郵送新聞ヲ抑留セラレ居リ又市内配達モ妨害セラレ居ル事  
及日本商店ヨリ貨物ヲ購買シタル支那人カ糾察隊ノ為逮捕  
セラレタル事等重ナル最近ノ事實ヲ指摘シ此ノ際更ニ一步  
ヲ進メ此ノ種不法行為ノ絶無ヲ期スル様有効ナル措置ヲ講  
セラレタキ旨申出タル処商ハ反日会ト党部トノ複雑ナル関  
係及之ニ対スル同人ノ既往ニ於ケル取締措置等ニ関シ一通  
リ弁明シタル後実ハ先般係官ヲシテ当地郵務長「ニツクソ  
ン」ニ付順天發送妨害ノ現狀ヲ詳細調査セシメ其ノ結果公  
安局長ヲシテ反日会側ニ対シ説論ヲ加ヘシメタルモ何分ニ  
モ同会ハ党部トノ関係ヲ有シ一面當時党部ノ責任委員未就

四、対日經濟絶交

ノ四項目アル処一ハ河北省ニ於テハ僅ニ天津一ケ所ナルカ  
天津ハ特別市ニテ中央直轄ナレハ河北省ニハ救国運動会ハ  
設置ノ場所ナキ理ニテ二ノ民衆訓練部ハ既ニ廃止セラレ居  
リ三及四ハ濟案解決シ政府ノ命令ニ反スル次第ニテ何レモ  
適用出来サルヲ以テ折返シ政府及中央党部ニ質疑ノ電信ヲ  
発シタル次第ナルカ右ハ恐ラク河北省ニ限ラス各省党部ヘ  
一斉ニ發出セラレタルナルヘク又各地ノ反日会カ改称後依  
然反日ヲ繼續シツツアルハ右命令ニ基クモノナルヘク且過  
般モ南京ニ全国反日会開催セラレタル処政府当局カ之ヲ默  
過シ居ルカ如キハ不可解ト云フノ外ナク旁中央ノ矛盾セル  
政策ハ怪訝ニ耐ヘスト内話シタル趣ナリ  
上海、南京、天津ニ転電セリ

480 昭和4年6月(19)日

在中国芳澤公使より  
田中外務大臣宛(電報)

商震が反日会の順天時報抑留並び同紙配達妨  
害に關し南京よりの民衆訓練部指導委員の着  
任を待つて取締りたいと述べたことについて

任ノ際ナリシ為豫期ノ効果ヲ得サリシカ最近之カ責任者タ  
ルヘキ民衆訓練部指導委員新ニ南京ヨリ着任シタルニ付約  
一週間前自分(商)ヨリ同人ニ対シ順天問題ノ解決及一般  
排日取締方法ニ関シ懇談シタルカ同人モ之ヲ諒シ一応事情  
取調ノ上法ヲ講スヘキ旨答ヘタル次第ニテ今回ハ党部側ヲ  
動カシ是非共取締ノ効果ヲ挙げタキ決心ナリト答ヘタリ依  
テ本使ハ一再日中ニ右委員ノ取締弁法如何ヲ問合ノ上結果  
ヲ通知セラレタシト要求セルニ商ハ同意ノ旨答ヘ尚此ノ後  
共極力取締ニ努力スヘシト繰返シ言明セリ

481 昭和4年7月29日

在中国堀内臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

商震主席に對し反日会の順天時報發送妨害行  
為取締りを要望した際中央党部宣伝部長より  
同報掲載の論說に關して注意方要望があつた  
ことについて

北平 7月29日後発  
本省 7月30日前着

第八五三号

往電第六四〇号ニ関シ

順天時報ニ対シテハ其ノ後モ緩和ヲ見サルニ付更ニ商震ニ交渉ノ必要ヲ認メ居タルカ二十七日天羽、原田等他用商震ニ会見ノ際幸ヒ先方ヨリ往電第七八三号国民政府ヨリノ訓電ニ接シタル事及過日天津ニ於テ岡本総領事トモ相談ノ上排日取締ニ尽力シタル事等ヲ述ヘタルニ付天羽ハ排日取締ニ対スル商ノ尽力ヲ感謝ノ上順天問題ニ言及シ反日団体ハ解散セラレタル管ナルニ反日会員カ依然同紙ノ通送ヲ妨害シ居ルカ今ヤ中央政府ヨリハ貴主席ニ対シ最明瞭ナル取締命令アリタル次第モアリ徹底的取締ヲ望ムト述ヘタルニ商ハ快諾シタル上実ハ過日国民政府中央党部宣伝部長葉楚傖ヨリ六月十四日順天紙上「閩族ノ変遷」ト題スル論説ハ反革命運動ヲ煽動スルモノナリトテ注意シ来リタル関係モアリ同紙ノ論説及編輯振リニハ一層注意ヲ加ヘラルル事ニシ度シト述ヘタルニ付天羽ハ右ノ論説ハ記憶セサルカ兎ニ角御話ノ趣旨ニハ田邊社長ニ申伝フヘシ但シ順天ハ昨秋迫害ヲ受ケシ以来一部ニ於テハ餘リニ卑屈ニ過クトノ譏ヲ受ケシ程国民政府当局ノ意ヲ迎フルニ努メ居ルカ故ニ右論説ノ内容モ恐ラクハ左程問題トスルニ及ハサルモノカトモ思

ヲコソ表シタルコトアルモ之ニ反対シタルコトナク「両紙ノ間大ナル相違アリト述ヘ種々協議ノ結果二十八日ヨリ兎ニ角同紙ヲ郵便局ニ差出サシメ若シ依然反日会員カ之ヲ拘留シタル際ハ直ニ商ニ於テ取締ルコトニ打合セタル趣ナリ南京、上海、天津ニ転電セリ

482 昭和4年8月1日 在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）

商震に郵務工会の順天時報圧迫に關し注意喚起  
したところ郵便局に市党部宣傳員代表を派遣し  
同報通送方取計いたい旨語ったことについて

北平 8月1日後発  
本省 8月1日後着

第八五九号

往電第八五三号ニ関シ

郵務工会ハ順天ノ郵送ニ対シテ依然圧迫ヲ加ヘ居ルニ付商震ノ注意ヲ喚起シタル処三十一日商ハ党部ニ於テ協議ノ結果八月一日市党部民衆訓練部長ヲ郵務工会ニ派シ将来郵便局ニ於ケル反動刊行物検査ハ市党部宣伝部ニ於テ之ヲ行フ

ハル実ヲ申セハ順天ノ幹部ハ反日団体ノ圧迫ニ対シテ隱忍ニ隠忍ヲ重ヌルト同時ニ他方国民政府ニ同情アル編輯振リヲ続ケ来リタルモ圧迫ハ依然緩和セラレタル事実ニ鑑ミ寧ロ正々堂々ト曲直ヲ争フヲ可トスヘシトノ意見ヲ為スモノスラアルカ渡邊等ニ於テ之ヲ有メ居ル次第ナリ又支那新聞ハ一般ニ田中内閣ニ対シテハ勿論濱口内閣ニ対シテモ無稽ノ報道ヲ伝ヘ攻撃シツツアルカ之等ノ新聞紙ハ自由ニ日本ニ送ラレテ日本ニアル支那留学生又ハ支那居留民ノ対日反感ヲ刺戟シ居ル事実モアルカ故ニ世間ノ一部ニ於テハ之ヲ順天問題ト併セ考慮シ支那新聞ノ輸入取締ヲ今一応嚴重ニスヘシトノ意見ヲ為スモノアリ尤モ我々ハ右二問題ハ全然別個ノモノト考ヘ居ルモ順天問題ノ解決カ長引クニ於テハ種々不愉快ナル副産物カ生スル虞モアルニ付其ノ辺ノ事情ハ篤ト考慮ニ入レ置ク必要アルヘシト述ヘタルニ商ハ中央宣伝部ニ於テハ全国ノ新聞ヲ嚴重ニ検閲シ時々注意シタルコトアリ現ニ「ノース、チャイナ、デリー、ニュース」其ノ他米国人経営ノ新聞モ通送ヲ禁止サレタルコトアリト述ヘタルニ付天羽ハ「ノースチャイナデリーニユース」問題ハイザ知ラス順天ニ至リテハ従来国民党ニハ同情

旨通告セシメ置キ今後毎日宣伝部員一名ヲ郵便局ニ出張セシムル事ニ決シタリ右措置ハ宣伝部カ自分（商）ノ所管事項ナル事実ニ鑑ミ解決ヲ計ル為ニ執リタルモノナリト述ヘ右宣伝部員代表派遣ノ上ハ直ニ御通知スルニ付順天時報社ヲシテ同紙ヲ通送方取計ハレタシト語リタルニ付天羽ハ商ノ尽力ヲ謝シタル上今後ノ事モ依頼シ置キタル由ナリ往電第八五八号ノ次第モアリ本問題解決迄ニハ尚相当ノ曲折ヲ経ルヤニ思料セラル

天津、上海、南京へ転電セリ

483 昭和4年9月3日 在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）

順天時報社が一般反日運動の終息に伴い市内  
請売人に対する販売を開始したところ報夫  
工会が飽迄同紙の排斥運動を継続する旨の宣  
言書発表について

北平 9月3日後発  
本省 9月4日前着

第一〇〇八号

(1) 一、最近当地一般反日運動ノ終熄ニ伴ヒ順天時報社ハ久數中止シ居リタル市内請売人ニ対スル販売ヲ開始スルコトトシ八月二十六日以来毎日數百部ヲ一般漢字新聞ノ取引市ニ送付シ販売ヲ試ミタル処請売人ハ競フテ之ヲ買取り市内ノ触レ売りニモ何等故障ヲ見サリシカ九月一日ニ至リ突如(一)市内數ヶ所ニ順天排斥ノ各種「ポスター」七八種貼附シアリ(二)又同日報夫工会派出ノ監視アリ數名同社ノ門前ヲ見張り社ヨリ出て来リタル請売人ノ二名ヲ拉致シタル事件發生シ更ニ(三)翌二日ノ各新聞ニハ報夫工会名義ニテ順天時報ハ日本帝國主義ノ機關紙ニシテ我國ノ革命ヲ妨害シ離間中傷ヲ事トスルモノナルカ故ニ吾人ハ反日会ノ工作ヲ繼續シ市党部總工会ノ指導ニ依リ同紙ヲ葬ル為飽迄抵制運動ヲ繼續ストノ趣旨ノ宣言書發表セラレタリ

二、右ハ最近著シク緩和シ来レル本問題ヲ逆転セシメ更ニ反日運動再燃ノ導火線トナル虞アルカ故ニ事態ノ拡大セサルニ先タチ速ニ地方当局ニ警告シ之カ取締ヲ実施セシムル必要アリト認メ不取敢二日有野ヲシテ先ツ市政府秘書長孫松齡(市長張蔭梧落馬負傷後事実上市長代理ヲナシ居レリ)ニ会见セシメ前頭ノ各事実ヲ指摘シ速急取締方嚴重ニ

ス差当タリ右報夫工会ノ運動モ別段中央党部ノ指示ニ依ルモノニハ非サルヘク結局市党部又ハ支那側新聞業者ノ煽動ニ依ルモノナルヤニ察セラル

尚支那各地郵送ノ順天時報抑留問題ハ依然解決セサル為同紙ハ目下之カ発送ヲ差控ヘ居ル処先般來商震ニ対シ極力嚴談シ商モ當時芳澤公使ニ対シ山西行前ニ解決スヘキ旨約シタルカ結局未解決ノ儘商ハ離任シ爾來其ノ儘トナリ居ルモ本件ハ此ノ際一括交渉スルコトハ不得策ト認メ態ト一先ツ差控ヘ居レリ

上海、南京、天津へ転電セリ

484 昭和4年9月20日

在中国堀内臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

最近における順天時報の直接配達、下請販売、郵送状況について

北平 発

本省 9月20日後着

第一〇七六号

往電第一〇二一号ニ関シ

申入レシメタル処孫ハ最近当地反日運動終熄ノ折柄斯ノ如キ運動ノ再発ハ甚タ遺憾ナリトテ公安局ニ命シ取締ヲ為サシムヘシト約シ

(2) 尚右運動ハ從來ノ行懸ヨリ見テ別段中央党部ヨリノ密命等ニ基クモノトハ認メ難キモ或ハ当地市党部ハ近ク改組セララル豫定ナル為不平ヲ有スル左傾分子カ報夫工会ヲ指導シタル為ナルヤモ知レサル処若シ市党部ノ指図ニ依ルモノナルニ於テハ之カ取締ニハ多少ノ時日ヲ要スルニ付豫メ諒承ヲ請フ旨附言シタル趣ナリ

三、更ニ同日有野ヲシテ衛戍總司令代理俞家驥(總司令部秘書長)ニ対シ同様交渉セシメタル処俞ハ未タ何等報告ナク事態判明セサルニ付不取敢真相調査ノ上適當措置スヘシトテ曖昧ナル返辭ヲ為シタルカ有野ヨリ反日運動取締ニ関スル中央ノ命令等引用ノ上篤ト注意ヲ喚起シ更ニ兩三日中ニ取調ノ結果及取締措置ニ関シ返辭ヲ請フ旨申入レ引取りタル趣ナリ

四、最近当地ノ一般反日運動ハ殆ト完全ニ終熄シ居レリ上海発閣下宛電報第九三八号中央党部ノ密令問題ニ関シテモ爾來注意中ノ処何等之ニ基因スルカ如キ事実ノ發生ヲ認メ

一、其ノ後有野ヲシテ十日何成濬ニ対シ本件取締ニ付關係当局ニ注意方依頼セシメ更ニ十二日警備司令李服膺ニモ取締勵行方交渉セシメ尚一面鄭文軒ヲ通シテ官憲及市党部側ノ態度ヲ探ラシメタルカ大体ニ於テ

(一)衛戍總司令部以下各官憲トモ取締ノ態度不徹底ニシテ執レモ単ニ順天社直接配達ノ保護及表面の事故ノ防止ヲ為ス程度ニ止メ進ンテ總工会又ハ報夫工会ニ対シ直接干渉シ又ハ命令スル事ヲ避ケ居ル模様ナルノミナラス

(二)一面市党部ニ於テハ別段煽動又ハ指嗾ノ形跡ハ無キモ工会ノ不法ヲ阻止スル意思ナク又実力モナキ為不干渉ノ態度ヲ持シ居ルモノノ如ク其ノ結果直接配達ノ方ハ其ノ後著シキ事故ヲ見サルモ市内触レ売ニ対スル妨害事故ハ今尚続出シ居リ之カ為市内売上ケノ大部分ヲ占ムル下請販売ハ再ヒ殆ト全滅ノ状態トナレリ

二、然ルニ一方支那各省宛郵送ノ分ハ往電第一〇〇八号末段ノ通發送ヲ差控ヘ居リタルカ本月十日郵便局内ノ反日会検査所ノ看板撤去セラレタル旨内報ニ接シタルニ付不取敢順天ヲシテ北平郵務管理局ニ対シ郵送新聞ヲ故障ナ

ク発送シ得ルヤ否ヤニ付問合サシメ同時ニ十七日以降天津宛百部宛郵送ヲ試シメタル処孰レモ故障ナク発送セラレ尚十八日管理局ニモ従来局内ノ建物ヲ専用シ居リタル反日会ハ九月四日局内ヨリ退去シタル旨同社宛公文ヲ以テ回答シ来リ爾来毎日滞リナク天津宛発送ヲ継続シ居リ此ノ分ニテハ久シク行悩ミタル郵送抑留問題モ自然解決ノ模様ニテ同社ニテハ茲暫ク形勢ヲ見タル上更ニ各省宛郵送ヲ復活スル手筈ナリ

上海、南京、天津へ転電セリ

485 昭和4年11月19日 在中国堀内臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

北平特別市党務指導委員会宣伝部が順天時報社に対し中央党部の命令として日報登記弁法による登記方通告について

北平 11月19日後発  
本省 11月20日後着

第一二六一号

十月二十四日北平特別市党務指導委員会(マ)伝部ヨリ順天時

へについて

北平 11月30日後発  
本省 12月1日後着

第一三〇五号

本官宛南京宛電報第五二号

大臣宛往電第一二六二号ニ関シ

当地総工会側ニ於テ再ヒ順天紙ノ排斥ヲ計画中ナリヤノ聞込アリタルカ故ニ過日須磨ヲシテ衛戍総司令部秘書長ニ対シ夫レト無ク注意セシメ置キタル処三十日順天社カ確実ナル筋ヨリノ聞込ナリトテ申出ツル所ニ依レハ二十七日南京行政院ヨリ北平市政府ニ対シ全民報民言報、世界晚報及順天紙ハ反動的ナルニ依リ全民、民言ハ処分シ世界晚報ハ警告ヲ発シ順天ニ対シテハ嚴重取締ヲ行フヘキ旨電訓シ来リタル由ナルカ右ニ関シ張市長ハ二十八日行政院ニ対シ順天ハ別トシテ他ノ三新聞ニハ今後反動記事ヲ掲ケサル様市政府ニ於テ保障スヘキ旨返電シタルカ一方市政府ハ順天ニ対シテハ大体前回通ノ營業妨害ニ出ツル模様ナルカ如ク右命令ハ結局北平市党部カ主トナリ中央党部ニ申進ノ結果ナル趣ナリ右ニ付三十日須磨ヲ市政府ニ派シ市長代理梁參事ニ

報社ニ対シ中央喧伝部ノ命令ニ依ル趣ヲ以テ十月二十八日ヨリ十一月二十七日迄ノ間ニ日報登記弁法ニ従ヒ登記方通告アリタル処順天ハ民国三年ノ登記法ニ從テモ登記シ居ラス又将来決定セラルヘキ登記法ハ旧登記法ノ例ニ依ルモ嚴重ナル檢閲並ニ罰金及体刑等ノ処罰ヲ規定スヘキハ明ニシテ單ナル行政規則トハ受取り難キヲ以テ治外法權ノ關係上順天ハ登録スヘキモノニ非スト思考セラルルノミナラス一方最近当館員カ当地衛戍総司令部關係者ニ依頼シテ市党部方面ヨリ得タル情報ニ依レハ今回ノコトハ河北省政府北平市党部及衛戍総司令部聯合ノ下ニ新聞紙檢査所ヲ設クル為管内漢字新聞ノミ(順天以外ノ邦人經營新聞ニハ何等ノ通告ナシ)ニ右通告ヲ発シタニ過キサル趣ナルカ故ニ差当リハ順天ヲシテ此ノ儘黙殺セシメ置キ期限經過後ニ至リ重ネテ強硬ニ申入アル場合ニハ拒絕セシムル筈ナリ

在支各領事及香港へ暗送セリ

486 昭和4年11月30日 在中国堀内臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

北平市政府の順天紙排斥命令発出の事実取調

会见セシメ右真相ヲ確メシメタル処梁ハ未タ之ヲ承知セス取調ノ上回答スヘシトテ不得要領ニ終リタル趣ナルニ付テハ貴官ニ於テモ行政院側ニ就キ右命令発出ノ事實御取調ノ上結果回電アリタシ

大臣、上海、天津、奉天へ転電セリ

487 昭和4年12月31日 在中国堀内臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

北平市政府と同市党部会同による順天紙販売  
妨止方手配の情報について

付記一 外務省作成(稿)

順天時報圧迫事件經過大要

二 昭和五年三月二十九日着在上海重光総領事より幣原外務大臣宛電報第二三五号

順天時報が廃刊となつた旨の時事新報掲載記事について

北平 12月31日後発  
本省 12月31日後着

第一三八二号

本官発南京宛電報第五二号ニ関シ

二十八、二十九日ノ両日ニ亘リ又復順天直屬ノ配達夫三名公安局ニ拉致セラレ発行部数カ全二千部以上（発行総数五千五百見当）減少スルニ至リタル一方張蔭梧（北平市長）ノ機関紙全民報方面ノ情報ニ依レハ目下又復市政府ト市党部会同シ順天ノ販売妨止方手配シ先ツ同社ノ直屬配達夫ヲ捕ヘ漸次庄迫ヲ加ヘントスルヤノ報道モアリタルニ付三十一日不取敢須磨ヲシテ市長代理ニ会见セシメ右三名ノ釈放方並順天庄迫措置ノ有無殊ニ市政府ノ之ニ対スル關係等取調ヘ方申入レシメ置キタリ

上海、南京、天津、奉天ヘ転電セリ

### （付記一）

順天時報庄迫事件經過大要

我山東出兵殊ニ濟南事件等ニ関聯シテ支那各地ニ起リタル排日風潮ハ昭和三年六月張作霖ノ関外退出、国民党勢力ノ北平侵入ト共ニ北平地方ニモ漸ク波及シ同地ニ於ケル順天時報排斥ノ形トナリテ表ハレタリ即チ同年九月以来国民党北平市党部カ中心トナリ郵務工会、報天工会、<sup>（イ）</sup>鐵路工会等

ヲ指導シテ同紙ヲ組織のニ庄迫シ初メ更ニ反日会ノ成立ヲ見ルヤ一層激烈ヲ加ヘ同紙ニ甚大ナル損害ヲ与ヘ其後昭和四年七月反日会ノ改組ヲ見ルニ到ル迄公然ニ庄迫ヲ加ヘタリシモ反日会ノ改組以来幾分緩和セラレ或ハ此ノ儘漸次休止スルカトモ思ハレタルニ九月一日突然報天工会ヨリ攻撃ヲ開始セラレ再燃スルニ至レリ

党部又ハ反日会ニ於テ順天時報排斥ノ理由トスルトコロハ終始同紙カ日本帝國主義ノ機關紙ニシテ反革命的宣伝ヲナスモノナルヲ以テ排斥セサルヘカラスト言フニ在ルモ其実同紙カ北平言論界ニ於テ不偏不党ノ立場ニ在リテ其記事ノ正確ナルコトニヨリ信用ヲ博シ北平發行新聞紙總数ノ約半分ヲ占ムル發行数ヲ有スルニ拘ラス必スシモ国民党ノ意ニ迎合セス彼等ノ注文通りニ動かサルニ不満ヲ抱キ折カラノ排日氣勢ヲ藉リテ一氣ニ之ヲ打倒セントセルニ加ヘテ他ノ漢字新聞カ自己ノ勢力拡張ヲ図ツテ之ニ応援セルニ在リ排斥ノ手段トシテハ殆ト為ササルトコロナク市内売捌店ヲ庄迫シ或ハ直接配達人ニ対シテ妨害ヲ加ヘ為ニ一時同紙ノ配達ハ日本人同乗ノ自動車ヲ以テスルノ已ムナキニ至レリ又公然郵便局ヲ庄迫シテ同紙ヲ郵送セシメス郵務長「パーキ

ン」、副郵務長劉耀廷ハ為ニ転任又ハ辭職スルニ到レリ同時ニ漢字通信ノ供給ヲ止メ又印刷職工ヲ庄迫シテ同紙ノ作成ヲ妨害セントセリ但シ印刷職工ノ庄迫ハ同紙印刷職工ノ給料カ殆ト他紙ノ二倍ニ上ルノミナラス總テノ方面ニ於テ他紙ニ較ヘテ有利ナル条件ヲ具備セルト同紙カ必死ニ對抗策ヲ講シタルタメ遂ニ不成功ニ終レリ又一方購読者ニ対シテハ順天時報購読者懲罰条例ヲ設ケテ或ハ罰金ヲ課シ或ハ所設ノ木檻内ニ監禁シ或ハ同紙購読者氏名ヲ国賊一覽表等ノ名ヲ付シテ新聞紙上ニ掲載スル等ノ方法ヲ執リシタメ一般人民ハ何レモ同紙ノ購読又ハ広告ヲナササルニ到レリ事情以上ノ如クナルヲ以テ同紙發行部数ハ激減シ然モ漸減ノ趨勢ニ在リ昭和三年九月初旬庄迫開始以来同紙及北平主要支那新聞ノ發行部数ノ變遷左ノ如キ

| 順天時報       | 初旬發行部数 | 十月     | 初旬發行部数 | 昭和四年五月以降ノ増減部数 | 昭和三年九月    |
|------------|--------|--------|--------|---------------|-----------|
| 北平主要支那新聞合計 | 一〇、六〇〇 | 一七、五〇〇 | 一七、〇〇〇 | 六、四〇〇（増）      | 一四、〇〇〇（減） |

右庄迫ニ対シテハ事情發生以来我方ニ於テハ北平ニ於テハ該地方実権者ニ又南京ニ於テ中央政府ニ其他凡ユル機會ニ

於テ夫々抗議シタルモ何レモ要領ヲ得ス（支那側ハ党部ト政府ハ其系統ヲ異ニスルタメ政府筋ヨリ党部ノ指揮スル民衆運動ニ干渉スルヲ得スト言フヲ常トセリ）只北平ニ於テ市長何其輩ノ失脚及市党部委員改組以来山西系ニ於テ幾分ノ好意ヲ示シ甚シキ不法行為ハ之ヲ彈圧スルニ至リタルト濟南事件解決後反日会カ全国的ニ改組セラレ一方又反日会カ漸ク民心ヲ失ヒツツアルタメ幾分下火トナリタルカ如キ觀アリシモ前記ノ如ク九月一日突如報天工会ヨリ攻撃ヲ再開セラレ各所ニ反对ノ「ビラ」貼布セラレタルヲ見ルト言フ再開ノ原因ハ他社ノ配達人ト目下彈圧サレツツアル改組派カ秘カニ煽動シツツアルタメニシテ順天時報ハ二日朝公使館ヲ通シテ支那官憲ニ嚴重ナル抗議ヲ提出セリ

（欄外記入）

（欄外記入）

昭和四年九月至リ支那官憲ノ態度先ツ本新聞ノ「北平市外向郵送」ニ対シ緩和シ十一月ニ至リ方夢超ノ斡旋ニヨリ報夫工会トノ間ニ意思ノ疎通成リ満一年三月ノ永ニ亘ル庄迫茲ニ全ク消散セリ

但シ旧来ノ勢力ハ遽ニ挽回シ難ク目下發行部数二千内外。而カ

モ記事内容昔日ノ精彩ナク嘗テ同紙ノ誤タリシ文芸記事ノ如キ  
モ何等ノ新味無ク北京第一紙新晨報ニ対比シ見劣リスルコト甚  
タシ

(付記二)

上海 発  
本省 3月29日前着

第二三五号

二十八日ノ事時新報ハ順天時報ハ発刊二十餘年ニ及ヒ支那

ノ感情ヲ傷ヒタルコト甚シク為ニ購読者モ絶ヘ維持困難ト  
ナリ終ニ廃刊スルコトナレリ順天時報及河北正報ノ廃刊  
ハ一般ハ奇異トスル処ナルモ一部人士ハ頗ル好感ヲ以テ迎  
ヘ幣原外交ヲ讚美スルモノサヘアリ又一般漢字紙ハ北平ノ  
地位變動シ日本トシテハ宣伝機関存置ノ必要ヲ認メサル結  
果ナリト評シ居レリトノ記事ヲ「關門大吉」ノ皮肉ノ見出  
ヲ以テ掲載セリ  
南京、北平へ転電セリ

## 六 日中通商問題

488 昭和4年1月(2)日 在上海矢田総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長山東撤兵時期を明示せざる限り関  
税問題の单独解決には応ぜずとの態度表明並  
びに田中首相を非難について

別電一 一月二日発在上海矢田総領事より田中外務大

臣宛第二号

新輸入税率施行関係往復公文案

二 一月二日発在上海矢田総領事より田中外務大

臣宛第三号

債務整理問題往復公文案

上海

発

本省

1月2日後着

第一号

往電第一〇〇五号ニ関シ

上村及草野ハ二日朝帰滬シ報告スル処左ノ如シ

一日午前九時外交部ニ於テ周龍光ト会见シ先方係官ヲモ交  
ヘ本件案文ニ付別電第二号乃至第四号ノ通り些少ノ修正ヲ  
行ヒ債務整理ノ案文ハ我方ノ希望通り乙案ヲ採用スルコト  
ニ談合ヲ遂ケ一応領事館ニ引揚ケタルカ後刻周ヨリ電話ア  
リ王部長ハ午後三時面会致スヘントノコトナリシニ付右時  
刻ニ王ノ官邸ニ赴キタルニ王ハ関税取極ニ関スル案文ハ先  
刻周司长ト御打合アリタル儘ニテ異議ナシ右ノ通一字一句  
モ動カスコトナク明日ニテモ交換スルコト一向差支ナシ但  
茲ニ明白ニ申上ケタキハ日本ニ於テ日支諸懸案ヲ解決スル  
ノ誠意ヲ披瀝セサル以上本件丈ケノ单独解決ニハ断シテ応  
シ得サルコト之ナリ即チ日本カ日支国交ノ癌タル山東出兵  
ニ関シ撤兵ノ時期ヲ明示セサル以上本件取極ニモ応シ難キ  
次第ナリ尤モ撤兵ノ時期ノ明示アラハ即時談合ノ通関税ニ  
関スル公文ヲ發送スヘシ抑々田中首相ハ一定ノ主義ナクシ  
テ多クノ策ヲ弄スル人ナリ自分ハ其「トリック」ヲ充分洞  
察シ居レリ同首相ハ日支懸案ノ解決ヲ計ル誠意ナシ